

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

<今号の内容>

- 手足の痙縮、拘縮などの改善……………1
- 大規模震災に備えた取り組みについて……………2
- 上肢機能の回復支援用ロボットについて……………3
- 認定健康増進施設の満足度調査結果について……………4



発行： 埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
TEL 048-781-2222

けいしゆく こうしゆく 手足の痙縮、拘縮などの改善

脳卒中などの脳血管疾患を患った方や脳性麻痺の患者さんは、加齢に伴い、手足の痙縮(つっぱる)、拘縮(固まる)、疼痛(痛む)が進行するケースが見られます。慢性的な進行のため、病院へかかるタイミングが難しく、症状を悪化させがちです。当センターでは、こうした患者さんの診察を積極的に受けていますので、ご相談ください。尖足(つま先立ちでかかとかが浮いた状態)については、下記のとおり専門外来を設けています。

せんそくがいらい
埼玉県総合リハビリテーションセンター **尖足外来** (整形外科)
毎週金曜日 午後(予約) 電話048-781-2222 (代表)

改善に向けての治療例

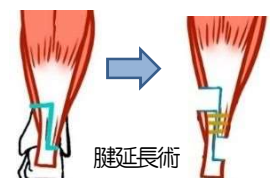
1 ボツリヌス療法(注射)

ボツリヌス菌が作り出す天然のタンパク質を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療方法です。筋肉をやわらかくすることで、手足の痙縮などを改善します。効果は、注射した2~3日後から3~4か月程度、通常持続します。



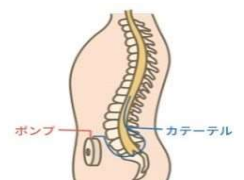
2 腱切り、腱延長、腱移行

手足の緊張している腱を切断したり、伸ばしたり、別の腱につないだりすることで痙縮などを改善する、手術による治療法です。



3 バクロフェン髄注療法 (ITB療法)

体内に植え込まれた薬液ポンプからバクロフェンという薬を髄腔内(脊髄周囲)に持続的に直接注入する治療法です。手術によりポンプを植え込み、状態に応じて薬の量を増減することにより、痙縮をコントロールすることができます。



大規模震災に備えた取り組みについて

近年、日本では大きな震災が発生しています。大規模震災に備え、当センター内での取組課題として訓練や環境整備を行っております。看護部では、さらに実践的に備えるため、今年度より災害対策作業部会を立ち上げて活動をしています。患者さんや職員の命を守れる行動ができるように、病棟の環境改善や、非常用物品の見直しを行っております。

7月にはセンター内で大規模地震を想定した防災訓練を実施しました。看護部では「廊下の壁の崩落」「水漏れ発生」「ガラスの破損」「負傷者1名発生」という場面を想定し、実際の安全確保と対応を実践しました。

引き続き大規模震災が発生した時に、患者さんと職員の安全を守れるセンター職員を増やす活動をしていきます。

下記の写真は、実際の訓練の様子です。



発災後、ラウンドを開始



水漏れ場所の発見



壁の破損の想定



負傷者の搬送

上肢機能の回復支援用ロボットについて

作業療法科にある上肢機能用のロボットについて、ご紹介します。

Eso（イー・エス・オー）グローブは、脳卒中の方などに対して上肢機能の回復を支援するリハビリテーション機器(以下、リハビリ機器)です。空気圧で作動するグローブを装着し、パソコンの画像を見ながら運動をします。手の状態にあわせて、握る・つまむなどの練習、物品の操作などをサポートしてくれます。また、グローブを装着していない反対側の手の動きをセンサーで読み取り、その動きをグローブに伝えて両手を同時に動かすこと(ミラーセラピー)もできます。肩から手首までを支持するアームサポートを併用することで上肢の全体的な操作が行えます。

リハビリ機器を使用して手指を動かすことは、運動イメージの練習となり脳の可塑性(脳の神経が新しいネットワークを築くこと)を高める効果が期待されています。

当センターでは、2023年1月より導入され、2023年度は49件、2024年7月末現在で、108件の利用実績となっています。空気圧を用いたグローブの動きはスムーズで、柔らかい装着感となっています。

リハビリ機器の詳細や適応については、担当の作業療法士や主治医にお聞きください。



出典：インターリハ株式会社 EsoGLOVE

<https://www.irc-web.co.jp/esoglove>

認定健康増進施設の満足度調査結果について

認定健康増進施設では、サービス向上を図る為、利用者の方を対象に3年ごとに満足度調査を実施しています。本調査では毎回、設備やサービス、料金、イベントなどについて、多くの貴重なご意見をいただいています。下記は、調査結果の一部ですが、ホームページには全ての結果を掲載しています。今後も利用者の方からご満足いただける健康増進施設をめざしてまいります。



健康増進施設のホームページ

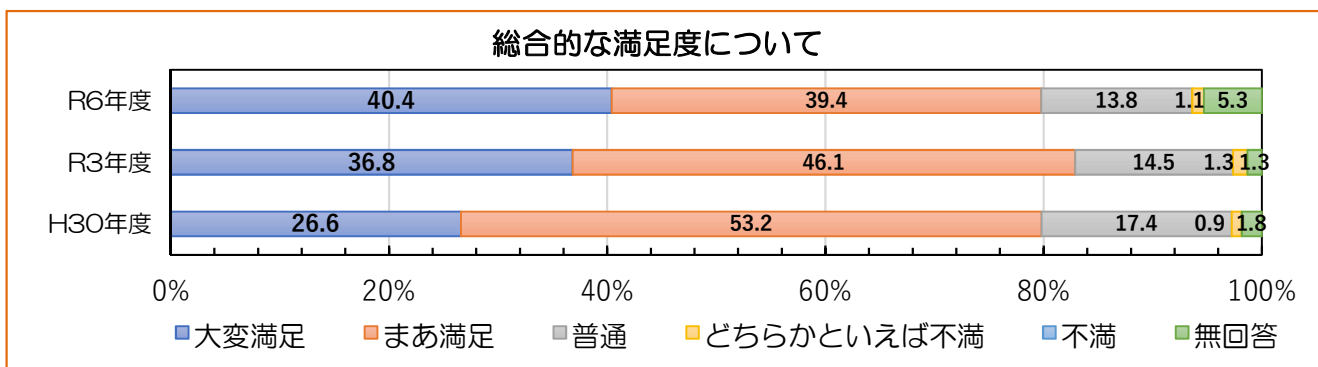
【調査期間】令和6年6月3日～28日

【対象者】調査期間中に来館した利用者107名

【回答結果】回答者97名（回収率93%）

【結果概要】前回の調査はコロナ禍（令和3年度）、その前の調査はコロナ禍以前（平成30年度）ということで、過去2回の調査結果と比較をしました。

設備については、改修工事を行ったトイレや更衣室などで、満足度が上がる傾向にありました。しかし、サービス面では、年3回行っているイベント（プチ大会）について、「大変満足」「まあ満足」の割合が、75%→71.2%→63.8%と満足度が低下。長年利用している方々にも、満足していただけるような企画を、検討していく方針です。総合的な満足度は下図のとおりです。



体育館・プール、利用者募集中！

認定健康増進施設では、障害のある方を対象にトレーニング指導を行っております。初回の「基本体力測定」では、マンツーマンで、障害の程度や体力レベルを評価し、一人一人に合った、トレーニングをご提案します。現在、利用される方を募集しています。まずは電話やメールでお問合せください。



人気の卓球ラリーは、利き手交換や立位バランスのトレーニングとしても有効です

健康増進施設のメールアドレス

